

さいたま市 退職校長会 会報

発行責任者
加々美 健一

会長就任にあたって

さいたま市退職校長会

会長 加々美 健一

新型コロナウイルスまん延のため、今年度は定期総会（五月二十一日開催予定）を中止とし、理事会（四月二十一日実施済）をもって総会に代えました。そして、その理事会で今年度の会長を仰せつかりました加々美と申します。ここで就任に当たり、会員の皆様にご点かお願いを申し上げます。

まずは、「さいたま市現職・退職校長教育推進協議会」の充実です。これは「彩の国教育の日」協賛事業でもあり、諸先輩が長年にわたって築いてきた経

緯があります。これを末永く継続することは、本会にとつて重要な使命です。昨年度は中止になり、紙上発表に代わりましたが、今年度は皆様の健康保持に配慮しながら可能な範囲で開催すべく、準備を進めていきたいと思ひます。

次に、県定期総会運営の件です。本会は、県退職校長会に加入していることから、県定期総会の運営を数年に一度担当することになっていきます。そして、次の担当時期が令和五年度の六月に決まっています。そこで、今年度中に実施委員会を立ち上げ開催準備にかかる必要があり

ます。さらには、県退職校長会のHPに関する件です。これに「支部・班の活動」のコーナーがあ

り、県内一〇支部・五十七班の情報交換の場となっております。ここにさいたま市支部・四班の活動状況も掲載されていますが、これを今後なお一層充実させていければ、と考えています。本会は浦和、与野、大宮、岩槻の四班で組織する連合体です。したがって、本会の活動は各班の協力無しでは成り立ちません。最後になりましたが、本会の会員はもとより、四班の皆様にも多方面にわたつてお世話になります。ご支援・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。



— 加々美 健一 会長 —

目次

◇巻頭言	1
さいたま市退職校長会 会長 加々美 健一	
◇さいたま市立小学校校長会 会長からのメッセージ	
さいたま市立小学校校長会 会長 豊島 登 様	2
◇さいたま市中学校校長会 会長からのメッセージ	
さいたま市中学校校長会 会長 松戸政世 様 (岩槻中学校)	3
◇令和三年度さいたま市 退職校長会理事会(新旧) 開催される	4
◇教育情報 「令和三年度教育行政方針」の概要 さいたま市教育委員会	5
◇談話室 〳 私の一言 〳 安藤 盛光・鈴木 孝夫 藤村 尚彦・五十嵐友一 鬼塚真知子・根岸 次郎 関根 俊幸・鈴木 光二	6 7 8 9
◇心覚え	
◇編集後記	
題字…加々美健一氏	10

さいたま市立小学校校長会 会長からのメッセージ

変革の時代に



さいたま市立小学校校長会

会長 豊島 登

(大宮東小学校)

昨年は、安心・安全と学びの保障の両立をいかに実現するかに腐心した一年でした。これまでの校長としての経験が生かされず、毎日、初めてのことばかりでした。対応が後手に回ることも多く、反省しきりの日々を送りました。こうしたときこそ、校長会という組織を活用して、多くの知恵を結集することの大切さを学びました。そして何よ

り、校長として「自分がやらねば誰がやる」という気持ちを奮い立たせて、新たなことに積極果敢にチャレンジする前向きな姿勢が養われた一年でもありませんでした。

今年度に入っても、感染症対策を万全にとりながらの学校運営となつていますが、昨年と大きく違うのは、全く先が見えない状況ではないということでしょう。工夫して何とか実行しようという教職員の姿勢も、意思統一されているように感じます。ご心配の声もいただきますが、そういう意味では、学校現場はまだまだ元気です。

一方、「教育DX」「GIGAスクール構想」「学びのパラダイムシフト」「令和の日本型学校教育」など、変革を求めるワードが次々と目に飛び込んでくるようになりました。しかし、私がひとりの教員として、ずっと大切にしてきた思いは、「学校はおもしろいところ」でなけれ

ばならない」ということです。一人一台のタブレット端末の配備と高速ネットワーク環境の構築が実現し、その活用を図ることが求められています。それも「おもしろい学校」を実現させるための一方策と捉えることが肝要と考えます。変革の波にのみ込まれてしまわないよう、校長としての経営基盤をしっかりと固めたいと思います。

さて、さいたま市立小学校校長会は、今年度も「学び実践する校長会」を活動方針の大きな柱として、これまで諸先輩方が積み重ねてきた研究成果を大切にしながら、現代的な多くの課題に対応できるよう、情報交換と議論を重ねてまいります。

さいたま市教育委員会の施策も、デジタル化の波と現代的な要求に対応して、多種多様となっております。それらを学校現場で、どう具体化していくかが問われています。そのために校長は、自分自身がその趣旨を十分に理

解して教職員に説明できるようにしなければなりません。

また、教職員の働き方改革や学校評価を生かした特色ある学校づくり、学力調査の結果の分析とそれに基づく学力向上策、いじめや不登校へのきめ細かい対応、コミュニケーション・スクールによる保護者・地域との連携促進など、自校の課題に対する学

校経営を実現させるための取組も地道に進めていく必要があります。現状を見極め、どう手を打つか、校長としての経営手腕の発揮しどころと言えます。細かいことに動じず、ぶれずに学校経営が進められるよう、校長どうしで研鑽を重ねていくことこそ、本校長会の重要な使命であると考えます。

さいたま市退職校長会の皆様には、今後とも温かく見守っていただくとともに、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さいたま市中学校長会 会長からのメッセージ

創造・連携・前進



さいたま市中学校長会

会長 松戸 政世史

(岩槻中学校)

さいたま市中学校長会(以下
本会)は、本市誕生とともに、
創立二十周年目を迎え、十一月
十一日には、大都市さいたま大
会が新都心で開催されます。大
会を成功裏に終えるとともに、
これまで諸先輩方の築いてこら
れた伝統を継承し、発展させて
いく責任を自覚する所です。

さて、本年度も、新型コロナウイルス
感染症拡大防止の対応が続いて
おり、子どもの心のケアやその
自立に向け、教職員や保護者な

ど、周りの大人の心を一つにし
ながら、日々の教育を進めてお
ります。また、Society

5・0による社会の構造的変化
は、教育においても例外ではな
く、デジタルトランスフォーメー
ション(DX)の必要性から、
学びを保障する手段として、遠
隔・オンライン教育に注目が集
まり、ICTは、これからの学
校教育を支える基盤的なツール
であることを前提に、学校教育
の在り方の検討が求められてい
ます。このような中、全面实施
となる新学習指導要領では、
「令和の日本型学校教育」の実
現に向け、子どもや学校等の実
態に応じ、各教科等の特質や学
習過程を踏まえて、「資質・能
力の三つの柱」をバランスよく
育成するとともに、変化を前向
きに受け止め、豊かな創造性を
備え持続可能な社会の創り手と
して、予測不可能な未来社会を
自立的に生き、社会の形成に参
画するための資質・能力を一層

確実に育成することを求めています。

さいたま市においても、令和
一〇年度までのさいたま市教育
を見据えた「第2期さいたま市
教育振興基本計画」のもと、人
生一〇〇年時代を豊かに生きる
「未来を拓くさいたま教育」の
推進を掲げ、特に、「さいたま
市GIGAスクール構想」や
「さいたまSDGs教育」、「さ
いたまSTEAMs教育」、「さ
いたま読解力向上教育」を中心
に個別最適な学びと協働的な学
び、教科横断型の探究的な学び
の実現を目指しています。

学校は、さいたま市教育委員
会と連携しながら、ICT活用
指導力やアクティブ・ラーニン
グ型授業の指導力など、教員一
人ひとりの資質能力の向上を目
指すため、OJTを中心に、仲
間との協働的な研修体制づくり
を進め、生涯にわたって主体的
に学び続けることのできる教育
環境を構築しなければなりません。

ん。また、来年度に全面实施と
なるコミュニティ・スクールに
おいても、「地域とともにある
学校」として、地域発展の担い
手となる人材育成を目指してま
いります。このような中、校長
は、働き方改革を進めながら、
新たな校務支援システムや人事
評価システムでの管理・運用を
進め、各教職員のキャリアアッ
プに努めてまいります。

本会は、これらの課題に真摯
に向き合い、「創造・連携し、
新しい時代の教育を実現し、前
進する中学校長会」として、会
員の力を結集して、本市中学校
教育の振興と発展に努め、本市
の教育が目指す人間像「世界と
向き合い、未来の創り手として
輝き続ける人」の実現に迫って
まいります。

今後とも、加々美健一会長様
をはじめ、退職校長会の皆様方
には、本会並びに各学校の応援
者として、ご指導ご鞭撻を願
い申し上げます。

**令和三年度
さいたま市退職校長会第一回
理事会(新・旧)開催される**

第一回理事会(新・旧)は、令和三年四月二十一日(水)午後さいたま共済会館にて四十三名の出席者を得て開催された。

開会行事

加々美健一副会長の開会のことばに続き、関口靖彦会長が挨拶された。

コロナ禍の深刻な状況が続きさいたま市も「まん延防止等重点措置」適用の対象となった。変異株の増加傾向も憂慮される。県の総会はすでに中止となった。五月二十一日に予定の本市の総会も中止としたい。会則第十一条に「緊急の場合、理事会をもって総会に代えることができる。」とある。本日の理事会はこれをふまえて実施したい、と提案され、協議事項が審議された。

一 協議事項

(一)さいたま市退職校長会

定期総会について事務局長より総会次第の説明があった。

令和二年度の事業報告と決算報告・監査報告では、コロナ禍で総会ははじめ多くの事業が中止となったが、その中でも会報の発行や役員会等の事業、県の事業への参加もあった、と報告があり拍手をもって承認された。

令和三年度について、新役員案では、二年後にさいたま市で開催予定の県総会の担当幹事を新たに設置すること、事業計画案と予算案では、社会状況が見通せない中で例年に準じた内容



新旧理事会の様子

での提案があり、各協議事項は拍手をもって承認された。

**(二)さいたま市現職・退職校長
教育推進協議会について**

昨年度はコロナ禍で開催が見送られ紙上発表となった。本年度も状況を見ながら計画を進めることが提案され、承認された。

(三)その他

①役員経験者から各班の交流を積極的に行い、班活動の活性化と本会の入会者減少に歯止めをかけた、との意見があった。

②二年後の県の総会や懇親会あり方について、前回の反省やコロナ対応等を鑑み、考えておく必要があるとの意見があった。

会長から現状について、代議員は減らす方向、美術展はすでに中止、総会は午後から、懇親会は担当地区で開催するかを判断との説明があった。また、新里

副会長から前回のさいたま市会場の参加人数の多さや、懇親会会場の混雑状況等の説明があり今後の検討課題とした。

③緊急時の対応に伴い、市役員連絡網の整備が必要との意見があり、加々美副会長より、会長から各班選出の四人の副会長へ、副会長から各班の連絡網で役員に連絡、の流れが提案され、承認された。

二 報告・連絡事項

さいたま市と埼玉県の定期総会は中止。幹事会、理事会は大宮小で実施。場合により変更もある、とことが報告された。

閉会行事

新里副会長が閉会のことばを述べ、無事終了した。

ここで、関口靖彦会長から退任のご挨拶があった。二年間の在任中、コロナ対応など緊張が続く中でのご労苦に対し、満場の拍手で謝意を表した。

☆☆☆☆☆☆

五月二十一日に実施予定の総会は中止が決定され、会則第十一条に従い、本理事会をもって令和三年度の事業が開始された。

教育情報 さいたま市の教育 ～「令和3年度教育行政方針」の概要～



さいたま市PRキャラクター
つなが電 ヌッ

予測困難な時代を迎えている近年、一人ひとりが豊かな人生を送ることのできる持続可能な社会をつくるには、ICTなどの新しい技術も最大限活用しつつ、全ての人が生涯にわたって主体的に学び続けることのできる環境の構築が求められています。さいたま市教育委員会では、このような我が国の教育をめぐる現状やこれまでの取組の成果と課題等を踏まえ、本市に生きる全ての人々の「学び」のために、学びのパラダイムシフトをもたらす先進的で質の高い教育を提供してまいります。

「ポストコロナ時代を見据えたさいたま市教育の飛躍」 —「教育DX」と「越境」で学びのパラダイムシフトを—

令和3年度は、ポストコロナ時代を見据えたさいたま市教育の飛躍を期し、「教育DX」と「越境」をキーワードに、次の3点を実現してまいります。

1点目は、「さいたま市GIGAスクール構想」の実践で「教育DX」の可能性を追求します。10万人の義務教育段階の児童生徒への1人1台の情報端末と168校の高速大容量のネットワーク環境という新たなICT環境の中、ITスペシャリストとの連携・協働による、「さいたま市GIGAスクール構想」が本格的にスタートします。各学校における「さいたま市GIGAスクール構想」推進の核となる教員を、「エバンジェリスト（伝道者）」と位置付け、校長のリーダーシップの下、エバンジェリストを中心として「教育DX」を推進してまいります。

2点目は、小学校、中学校の学びの連続性を強化します。令和3年度より、小学校高学年における教科担任制を順次実施するとともに、義務教育9年間を見通した教育課程の編成と指導体制の構築について一体的に研究し、令和5年度には全ての市立小学校104校において、教科担任制の導入を目指してまいります。また、さいたま市小・中一貫教育の更なる充実と教育の質の向上に資する義務教育学校の設置に向けて、準備を進めてまいります。加えて、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、小学校35人学級についても、令和3年度より計画的に整備してまいります。

3点目は、「さいたまSTEAMS教育」や「さいたまSDGs教育」など「教科横断型」の探究的な学びを推進します。高等学校が新しい学習指導要領で取り組む「総合的な探究の時間」の、小・中学校版として本市独自の「STEAMSTIME」を教育課程の中に位置付け、義務教育段階の全ての児童生徒が、協働的、探究的な学びに取り組む環境を構築します。

- I 12年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成
- II グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健やかな体の育成
- III 人生100年時代を輝き続ける力の育成
- IV スクール・コミュニティによる連携・協働の充実
- V 「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備

談話室

— 私の一言 —

新任で勤務した 学校にタイムスリップ

安藤 盛光

六十歳で定年退職後、再任用でさいたま市の学校地域連携コーディネーター（CD）として働くこととなった。再任用先は三十九年前に教員生活をスタートさせた田島中学校。異動してから三十年ぶりの田島中である。校舎、体育館、グラウンドといった主な施設は当時のままだった。よく雑巾がけをさせた百mある廊下もそのまま。まるで三十九年前の田島中に舞い戻ったようだ。建物はそのままでも、そこで暮らしている教職員や生徒はすべて入れ替わっていた。

徒が現れたのだ。名札の苗字もまちがいない。夢か幻だろうか？ その生徒は当時の教え子の子どもだった。まるまる一世代入れ替わっていた。同じようなことを何度も経験した。親子が顔立ちや背格好が似るのは当然だが、同じ中学生として二人を比べることなどめったにできない。授業参観、体育祭、合唱コンクール等では保護者から「先生お久しぶりです」とよく声を掛けられる。保護者となった元生徒は、五十〜六十人はいるだろうか。会うと当時の懐かしい思い出話に花が咲き時間を忘れる。どういふ訳かお互い楽しい思い出ばかり記憶に残っている。教員のなり手が減っていると聞くが、こんな経験は教員でないとできないと思う。

教員として九年、CDとして五年、計十四年間田島中にはお世話になった。再任用も終了し、四月から小学校のコーディネーターとして働いている。

魅力的な

女性との出会い

『浦和宿』編集余話

鈴木 孝夫

再任用最終年度の昨年度は、市立浦和博物館で『ウォーク・イン・中山道浦和宿』の改訂に携わった。力不足で冷や汗ものながら、発見や知的感動もあり、浦和のまちへの愛着が一層増した仕事だった。ここでは、その執筆編集途上でこぼれてしまった三人の女性を紹介したい。

まず、新島とみ（一八〇七〜一八九六年）。同志社大学の創設者新島襄の母である。とみは中山道に面した仲町の商家に生まれ、江戸の安中藩家老邸に奉公したのが縁で新島家に嫁ぎ、一八四三年に襄を産んでいる。とみは襄にどんな影響を与えたのであろうか。

次は、高浜虚子の高弟で、女流俳人の草分け長谷川かな女（一八八七〜一九六九年）。東京日本橋生まれのかな女は、母と夫を相次いで亡くし、新宿の自

宅も消失する不幸の末に、一九二八年浦和町岸町に転居した。

「浦和駅の東側はまだ水田が広がる、（略）西側は仲山道に通じる商店街があり、（略）鎮守調神社と駅の真ん中辺にこれから住む家がぼつんと建っていた。」と回想している。一九三〇年、かな女が失意から立ち上がるように創刊し亡くなるまで主宰した俳誌『水明』は今も続き、多くの俳人を育てるとともに市民文化の向上に貢献した。

とみは、常盤生まれの石井桃子（一九〇七〜二〇〇八年）。『ノンちゃん雲に乗る』を読んだ程度の経験しかない私は、石井の仕事のスケールの大きさに圧倒された。児童文学に関する創作、翻訳、編集、子ども文庫の運営等と幅広く活躍した。試みに身近にある絵本や児童書の奥付を見てほしい。訳者か編集者に、きつと石井桃子の名前を見つけてだろう。あのウサギも、クマも、「岩波少年文庫」も……。無知を恥じつつペンを置く。

先人に学ぶことで

勇気を

藤村 尚彦

さいたま市が誕生した年に転勤をしてきて二十一年間が過ぎた。本当に生活がしやすい。人々の住みたい街のアンケートなどでも常にランキングの上位に大宮や浦和等の名が挙げられているのは皆様が御存じの通りであつて、その理由に教育が挙げられる事が多い。これは諸先輩をはじめとする先生方の御尽力の賜物だと感じている。

ただ、さいたま市の地域が人々が住みやすい場所であつたのは現在が初めてではない。縄文時代の浦和や大宮台地には人々が活発に暮らしていた足跡が数多く残されている。

特に見沼周辺は私の勤務校であつた三室中学校に隣接している馬場小室山遺跡があり、他にも真福寺遺跡、寿能泥炭遺跡等枚挙に暇がないくらいである。

気鋭の研究者たちの学術論文や報告書には漆や栗、クルミ等の管理が指摘されて、特に高度な技術が必要とされている漆については注目を集めている。そして各遺跡から出土した貴重な漆製品や土器類が各地の博物館で大切に展示されている。

再就職の勤務のかたわら論文冊子を読めば読むほど市内の各遺跡の重要性が伝つてくる。特に人口が減少して全国的に危機を迎えていた縄文後期や晩期にも先人たちは力強く生きて漆器は輝きを見せている。

折しも、北海道や北東北の縄文時代遺跡群がユネスコの世界遺産に登録される見通しになったというニュースがマスコミで報道されている。

閉塞感に満ちた今の日本だが身近にも苦しい時代的な危機を乗り越えていった先人がいたことを学び勇気を頂いた思いでいる。もう少し学びを深めていこうと我が身を励ましている。

3つのC

五十嵐 友一

定年退職して、二年目となり、現在のゆったりとした生活に慣れ、心の置きどころも安定してきました。退職直後は、管理職（リーダー）としての過去を振り返り、自分の価値観だけで判断したり、少ない情報で決めつけたりするなど、反省すべきことがあつたのでは、と自戒することもありました。校長、教育研究所長としての九年間、「3つのC」（チャンス、チャレンジ、チェンジ）をキーワードに経営方針を打ち出し、常に全力で取り組んできましたが、現在は、次の「3つのC」を意識して生活しています。

1つ目のCは、コーディネーターです。学校地域連携コーディネーターとして、関係者との連絡調整をはじめ、地域学校協働活動の推進に努めております。

2つ目のCは、コミュニケー

ションです。何年も前から親しくさせていただいている方、お世話になつていらっしゃる方との関係もそうですが、近年、四・五十代の教え子たちと、旧交を温めています。アナウンサーになった教え子は、昨年、TBSラジオの全国放送で、私の名前を出して話題にしてくれました。その他、女性弁護士、元体操選手、飲食店主、医療検査機器開発の研究者など、各分野で頑張っている教え子たちから、現在は、多くのことを吸収しています。

3つ目のCは、コンディショニングです。毎朝晩の愛犬（柴犬）の散歩により、長年高数値であつたγ-GTPが正常値となり、ゴルフのスコアより先に一〇〇切りを果たしました。ロードバイクでの一〇〇km走破も目指しています。

「研究と修養」から「健康と休養」に移行しております。

家で過ごす日々

鬼塚 眞知子

以前、本を整理していた知人からいただいた『東海道五十三次の文學』（昭和十六年十月、神保町・巖松堂書店発行）。薄い黄土色に焼けた表紙には、筆字で題名の書かれた細長い草色の紙が貼られ、右上部の縦二つの穴に通されたこげ茶色の紐が全体を綴じている。染みや紙のはがれはあるものの、ほとんど手作りのような装丁に惹かれ、大切に保管してきた。

夢中になった。一方で、古い仮名遣いは一字一字確かめ、画数の多い旧字体は拡大鏡を使った。漢和辞典で調べたりしたので手間取った。また、文字数の多い頁は、活字が混み合っただけ、書き間違えないよう注意した。こうして、なんとか大津宿まで写し、コピーした画を重ねようとしたら、縦横が合わないことに気づき、意気消沈。

気を取り直し、今度は方眼紙を下に敷いて、画と同じ大きき向きになるようにし、本文・序文・奥付も慎重に書き写した。紙が薄く両面を使わなかったので製本はあきらめ、ファイルに収納。余ったポケットには、難解語句や紀行文等の説明資料を作成し、入れた。最後に毛筆の題名を背と表紙につけ、完成。三ヶ月間の取組だった。

以来、ファイルを手にとって、開いた頁を声に出して読んでいる。

春の一日

根岸 次郎

午前八時、昨日購入した苗をトランクに載せ、自宅から五kmほど離れた菜園に車を走らせました。今年植える苗はナス、キュウリ、トマト等に生育の難しいメロンを加えました。

植付けはとても簡単です。が、植付け後、春の突風で苗の茎が折れぬよう風除けを設置しなければなりません。苗の周囲に四本の支柱を立て、肥料袋の上下を切り取り寸胴にして、苗の周囲を覆います。最近は通風を確保するため、地面から若干の間を空ける工夫をしています。

二カ月ほど前に戻ります。苗の作付け区域を決め、愛用のガスボンベ式耕耘機（七年前購入）で耕しました。また、苦土石灰とたい肥を帯に散布し、それが耕地全体に攪拌されるよう耕耘しました。さらに、一カ月前にも同様な耕耘に努めました。

その結果、植付け日には、土は柔らかく、深く掘ることもできました。野菜づくりの第一の条件は土づくりだと思います。

午後三時、徒歩で十分足らずのスポーツジムに向かいます。七年前に水泳を始めました。当初は二十五mを泳ぐことができませんでした。三〜四度立つほどでした。今では、三泳法で五十mを泳ぐことができるようになり、現在、バタフライの特訓中です。

六〜七十分程度で切り上げ、浴場に行きます。まず、百度を超えるサウナに六〜七分入りませ。汗とともに、疲れや雑念が流れ落ちていくようです。シャワーを浴び、次は十六度の水風呂に体を沈めます。サウナとの温度差は八五度を超え、身体と心が引き締まります。

午後六時、午前中に収穫したスナックエンドウとエシヤロットを着に、ビールを楽しみます。乾いた身体が生き返ります。

写真展から想ったこと

関根 俊幸

今年の五月一日は、さいたま市誕生二〇周年に当たります。

そこで今私が勤務している公民館では記念行事の一環として、市民の日の前後の二週間、入り口近くのロビーに活動しているサークルの作品と昔の地域の写真などを展示しました。写真は近隣の小学校からお借りした白黒の昭和初期の木造校舎の小学校や、かやぶき屋根の地域の分教場なども含まれていました。映画の「となりのトトロ」に出てきたような豊かな田園風景、大きな木々に囲まれた神社なども写っていました。

すると公民館に来館された喜寿を超えたような地域の方々が、その昔の小学校の校舎の写真を前に、当時の校舎の様子、先生の思い出、友達と遊んだことを懐かしそうに話し合っていました。

た。なかには一時間近くも話していて、コロナの関係もあり、声をかけてお帰り願った方もいるほどでした。

私自身も、最近つとに記憶力が減退してきて、二度三度と繰り返し確認したことで、確実に覚えていかなかったことがしばしばあります。しかし、一週間前のことはよく覚えていなくても、不思議と何十年も昔の思い出がよみがえってくることもあります。指導案の作成と一緒に考えてくださった先輩の先生方、生徒指導で苦労した生徒の卒業時でのお礼の言葉、周年行事で積極的に協力してくれた地域や保護者の方々など、今でも鮮やかに思い出されます。昨年度は、コロナの影響で修学旅行や運動会などの学校行事が中止や延期になってしまいました。しかし、子どもたちには、豊かな体験を通して、何歳になっても思い出す良い経験を積み重ねてほしいと思います。

時代小説との出会い

鈴木 光二

中堅教員の頃、実務関係の本を読むことはあっても、時代小説はもとより小説にはほとんど関心がなかった。ところが、その後の二つの出会いが、今の私の趣味を形成している。

一つ目の出会いは、作家の鳥羽亮氏である。私が市教委に勤務する頃、鳥羽氏は、同じ市内の小学校の教頭であった。要職を務めながらも、平成二年に『剣の道殺人事件』で第三十六回江戸川乱歩賞を受賞した。その後も教頭職を務めながら、休日には、小説家として執筆活動に没頭する鳥羽氏の二刀流に改めて感服した。

鳥羽氏のデビューは、推理小説であったが、その後剣道有段者としての経験を生かし、時代小説に多くの作品を残している。私にとって、教員経験者である

鳥羽氏との出会いが、時代小説への契機である。

二つ目は、池波正太郎氏が描く『鬼平犯科帳』との出会いである。その頃の私は、管理職として、児童・教職員・保護者等と接する中で、どう向き合い、何を語ればよいのか思い悩む時期であった。

池波氏は、人間が生きていくために、避けることのできない日常問題を執拗に描いている。組織と個人、仕事と家庭、嫉妬と反発、男と女、愛情と金など誰しも経験する事がテーマとなっている。いつの時代も変わることのない、人間の裸の姿である。その中では正義か、そうでなければ悪か、というほど人間は単純ではなく、その中間にこそ様々な人間生活があると改めて教えてくれている。

コロナ禍の折、巣ごもり生活を送りながら、時代小説のページをめくり、新たな出会いを楽しむ日々を送っている。

心 覚 え

令和3年度さいたま市退職校長会 役員名簿

役職	氏名			
顧問	西村 皓 (浦和)	竹本 昭剛 (大宮)	多田 清作 (岩槻)	関口 靖彦 (浦和)
会長	加々美健一 (大宮)			
副会長	野口 英世 (浦和)	桑原 裕通 (与野)	大木 繁司 (大宮)	佐藤 憲克 (岩槻)
監事	橘 克彦 (浦和)	菊地 豊 (与野)	遠藤 健治 (大宮)	静井 眞治 (岩槻)
理事	金子 敏夫 (浦和)	高取 廣美 (浦和)	高橋 正 (浦和)	稲井 利雄 (浦和)
理事	山崎 俊 (浦和)	富樫 政宣 (浦和)	脇田 茂雄 (浦和)	石川 信和 (浦和)
理事	町田 二郎 (与野)	秋山 正光 (与野)	藍川 達雄 (大宮)	金子 泰久 (大宮)
理事	佐藤 薫 (大宮)	根岸 次郎 (大宮)	中村 秀男 (大宮)	渡邊 朋久 (大宮)
理事	橋本 栄 (大宮)	田代 敏生 (大宮)	西川 和利 (大宮)	大河内哲二 (岩槻)
理事	秋元千代子 (岩槻)			
事務局長	佐藤 博志 (大宮)	県総会担当幹事	井上 馨 (大宮)	
幹事	内田 雅寛 (浦和)	木村 栄二 (浦和)	今溝 良司 (浦和)	蓮見 哲 (浦和)
幹事	千葉 和博 (浦和)	佐々木克己 (与野)	野口 浩 (与野)	松澤 隆 (大宮)
幹事	矢内 洋 (大宮)	大澤 敬 (大宮)	鯨井 幹夫 (大宮)	新井このみ (岩槻)
幹事	萩原 昇 (岩槻)	齋藤 栄一 (岩槻)		

令和3年度さいたま市退職校長会 会員数 [令和3年5月1日現在]

浦和班 173名	与野班 41名	大宮班 185名	岩槻班 49名	合計 448名
----------	---------	----------	---------	---------

さいたま市立小学校校長会 運営組織

会長	豊島 登 (大宮東小学校)		
副会長	永山 誉 (高砂小学校)	三島 公夫 (常盤小学校)	引間 和彦 (尾間木小学校)
副会長	高崎 芳和 (神田小学校)	書上 敦志 (与野西北小学校)	
監事	柳沼 勉 (美園小学校)	逸見 修治 (木崎小学校)	
顧問	石井 寛 (大宮小学校)		
幹事長	永井 有司 (大東小学校)		
幹事	佐野 公子 (文蔵小学校)	井上 雅史 (原山小学校)	柳下 政浩 (大久保東小学校)
幹事	丹後 雅博 (大宮西小学校)	佐藤 利春 (芝川小学校)	
書記	辻 美由紀 (和土小学校)	西谷 健児 (城北小学校)	
会計	小野 圭司 (南浦和小学校)	大森 恵美子 (鈴谷小学校)	

さいたま市中学校校長会 役員名簿

会長	松戸政世史 (岩槻中学校)		
副会長	田邊 泰 (岸中学校)	松井 秀史 (与野西中学校)	春山 悟 (第二東中学校)
副会長	木寺 恒 (本太中学校)	幹事長	山口 聡 (桜木中学校)
幹事	館岡 靖哲 (大谷場中学校)	森角由希子 (原山中学校)	小熊 誠 (大原中学校)
幹事	堀口 成之 (宮原中学校)	長岡有実子 (美園南中学校)	富田 英雄 (大宮北中学校)
幹事	小林 正美 (大宮八幡中学校)	津田 顕吾 (三室中学校)	大河内範一 (指扇中学校)
幹事	高山 裕子 (大砂土中学校)	田村 浩司 (土屋中学校)	

さいたま市立の学校 [令和3年5月1日現在] (小中児童生徒数・学級数は、特別支援学級含む)

学校種別	学校数	児童・生徒数	学級数	市費教職員数
小学校	104校	68,675名	2,324学級	3,101名
中学校	58校	31,263名	977学級	1,853名
中等教育学校	1校	479名	12学級	42名
高等学校	3校	2,864名	72学級	210名
特別支援学校	2校	81名	33学級	90名

編集後記

会報第34号をお届けいたします。新型コロナウイルスの感染拡大は、人々の生活に大きな影響を及ぼしています。令和3年度さいたま市退職校長会総会も昨年度に引き続き中止となりました。その関係で会報内容を一部変更しておりますこと、この場をお借りしご報告申し上げます。

今回も皆様方から貴重な玉稿をお寄せいただき、誠にありがとうございました。これからも多くの会員の皆様方からの貴重なお声をお待ちしております。
(広報部担当幹事 矢内 洋)